

注意を集中し続けることが 難しい子



「LD・ADHD・高機能自閉症の子どもへの指導ガイド(2005)」より



ひろし君は、小学3年生ですが、一つのものごと集中し続けることが難しい男の子です。

一つの課題に取り組める時間も10分程度で、すぐ次のものに興味が移ってしまいます。



他にもこんな姿を……………

授業中に席を離れ、歩き回ってしまう。
突然、教室を抜け出す。
作業を途中で投げ出す、最後まで仕上げられない。
落ち着きがなく、絶えず体を動かしている。
授業中、勝手にしゃべり出す。
忘れ物が多い。
人の話を最後まで聞けない。

注意を集中し続けることが
難しい

つまづきの要因は何？



Question

推測できるつまづきの要因

刺激の影響を受けやすい

不必要な刺激(情報)をカットできない

注意を持続できない

見通しがもてない

そこで！



実態把握のポイント！

- ① 一つのこと集中できる時間は
何分くらいなのか？
- ② 教科や活動による集中の違い、
授業中と他の時間との違いはないか？
(集中できない時の状況、環境は
どうなっていたか？)
- ③ 現在、興味・関心を持っているものは何か？
(どんな時、どんな所で、何に集中できるのか？)

指導の実際

ひろし君の先生は、こんな取り組みをしました。

1. 1時間の授業を、読む、操作する、考える、書くという一定の流れにし、それぞれ一つの作業を短時間で構成する。
2. 1時間の授業の中で、A、B、C、Dのように違う課題を準備し、それぞれ10分程度取り組むようにする。
3. 見通しをもてるようにする。
(タイムスケジュール表の作成)
4. 座席は窓側を避け、一番前にする。
5. 机の上には、課題だけが上がるようにする。

指導のポイント

1時間の授業を、読む、操作する、考える、書くという一定の流れにし、それぞれ一つの作業を短時間で構成する。

学習活動の手順を踏まえる。
(見通しを持って取り組みやすくする)

活動時間を短く配慮する
(集中できる時間を工夫)

指導のポイント

1時間の授業の中で、A、B、C、Dのように違う課題を準備し、それぞれ10分程度取り組むようにする。

授業をモジュール化する。

(短い時間で、見通しを持って取り組むことができる)

課題A、B、C、Dを組み合わせることで変化を与える工夫。

(例：A B C Aパターン、A B A Bパターン等の工夫)

(変化があり、注意を引きつけ、維持することができる)

指導のポイント

見通しをもてるようにする。

(タイムスケジュール表の作成)

- ・どんな内容のものを、
- ・どのような方法で、
- ・どのくらいの時間をかけて、
- ・そして、終わったらどうなるのか

を意識させる。

絵や写真等の視覚的な情報を提示しながら、タイムスケジュールを作成し、活動の確認、流れの確認を図る。

指導のポイント

座席は窓側を避け、一番前にする。

学習環境の調整として、教師の指示が届く場所、できるだけ刺激の少ない場所等を配慮して工夫する。

教室の掲示物等、注意が移りやすいものは、できるだけ少なくし、見る対象がはっきり見えるように配慮する。

学級のルールを決めて、静かに授業を受ける態度、人の話をしっかり聞く態度等の定着を図る。

特定の場所に書いた部分だけノートに写す。

特定の色 of 文字だけ書く

指導のポイント

机の上には、学習に必要な物だけを上げるようにする。

学習の際に、注意が散漫にならないよう、学習に必要な物以外を片付けて、注目すべき物に焦点が絞れるように配慮する。

* 他には

・黒板に、机の上の文房具、教科書等を置く位置を絵に示し、学習時の作業がしやすいように配慮する。

より個に応じた指導

小集団による学習を経験することで、
教室での授業に活かせるようにする。

一つの活動に集中していくことの練習
として、小集団での練習。

より個に応じた指導

継続して取り組めるように、どのような作業を組み合わせるか試行してみる。

興味のあることや好きなこととうまく組み合わせせて大きな活動の流れを作る。

より個に応じた指導

一つの作業時間を少しずつ延ばして
いく練習をする。

いろいろな作業を組み合わせて、結果
的に集中する時間を延ばしていく。

一つの作業時間を延ばしていく。

注意を集中し続けることが 難しい子



終わり
担当:大城 政之

「LD・ADHD・高機能自閉症の子どもの指導ガイド(2005)」より